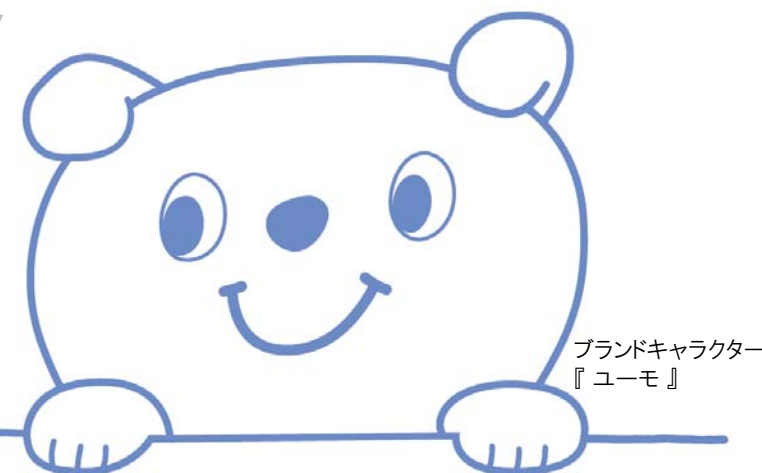




ふくおかフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会

～企業価値の持続的成長に向けて～



2015年夏

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ

(東証第1部・福証上場 証券コード:8354)

目 次

ページ

1. ふくおかフィナンシャルグループの概要 P. 2-10

2. FFGの成長戦略 P.11-21

3. 業績予想・配当方針 P.22-26

4. 参考資料 P.27-34





Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part I

ふくおかフィナンシャルグループの概要

ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)の会社概要

- ▶「あなたのいちばんに。」をブランド・スローガンに価値創造のパートナーを目指す金融サービス業
- ▶ FFG株式は東証1部に上場し、日経平均225やJPX400をはじめ、海外の代表的な株価指標にも採用

■ 会社概要

(2015年3月末現在)

本社	福岡県福岡市中央区大手門1-8-3
設立	2007年4月2日
資本金	1,247億円
従業員数	6,805名
取締役	14名（うち社外取締役2名）
監査役	3名（うち社外監査役2名）
上場証券取引所	東証第1部、福証（証券コード：8354）
採用株価指標	日経225、JPX400 MSCI、FTSE 4 Good など

■ 格付情報

(2015年6月末現在)

	FFG	福岡	熊本	親和
R&I	A+	AA-	A+	A+
JCR	A	A+	A	A
Moody's	—	Baa1	—	—

※発行体格付、長期債務格付、長期預金格付

ブランド・スローガン

あなたのいちばんに。

主な財務指標

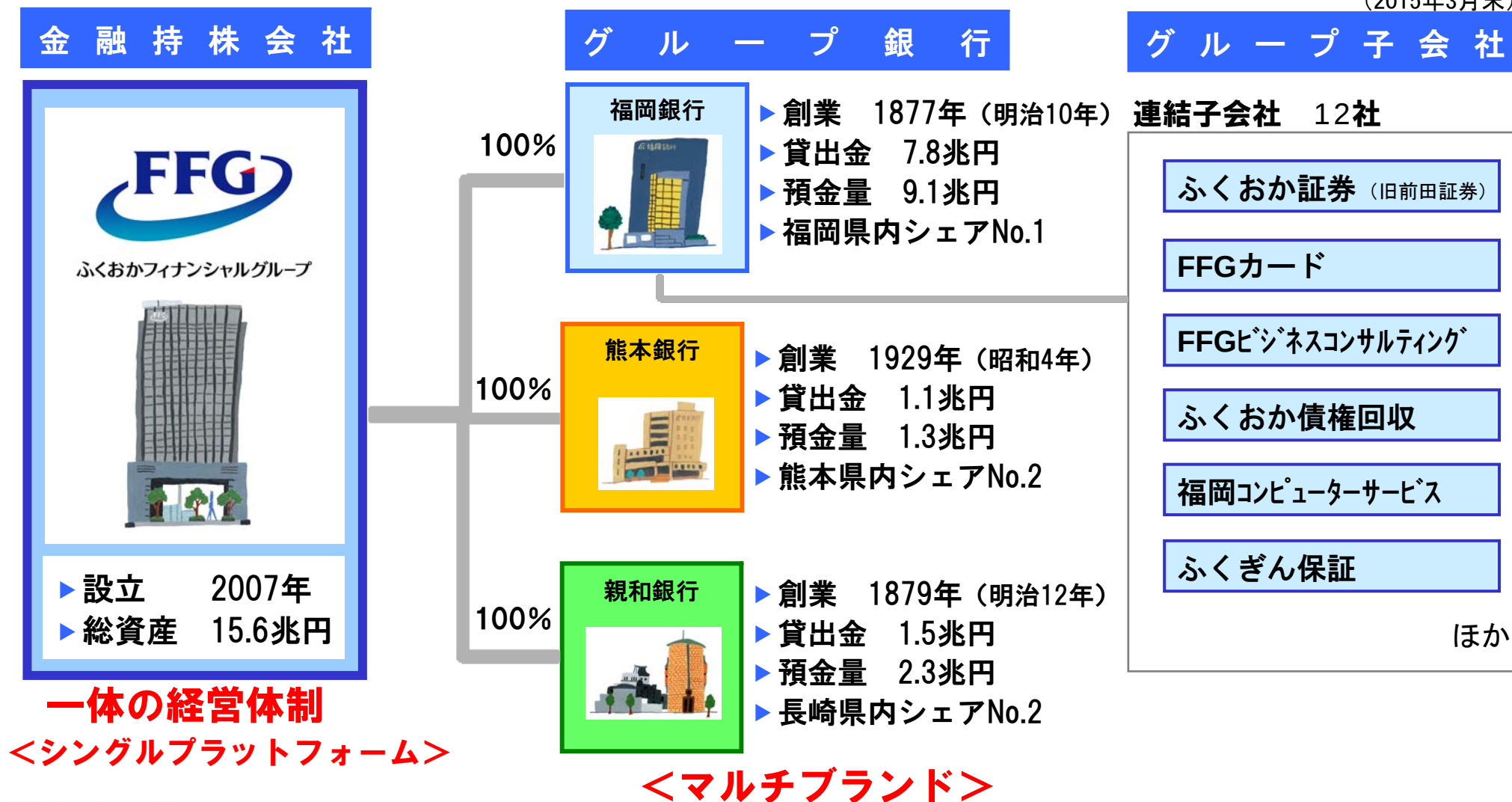
		上場会社順位
連結経常利益	608 億円	148 位
連結当期純利益	366 億円	157 位
時価総額	5,459 億円	222 位

※経常利益、当期純利益は2015年3月期。時価総額は2015年6月末時点

グループの構成

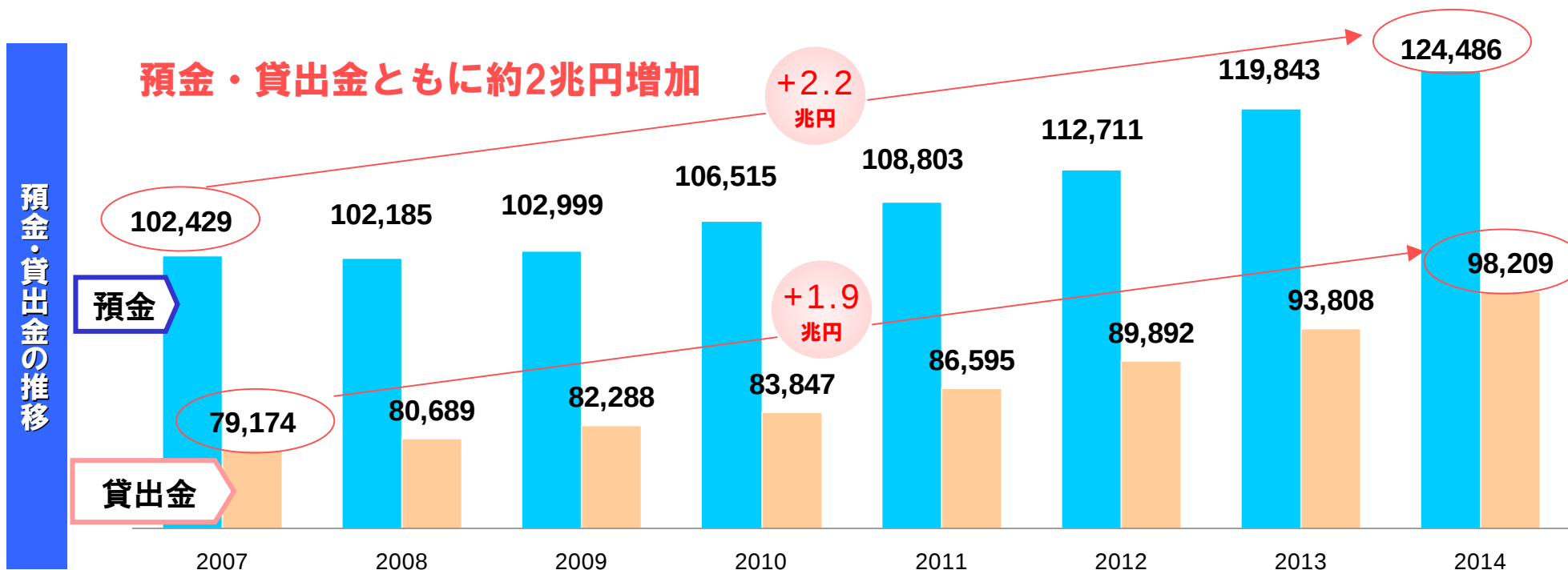
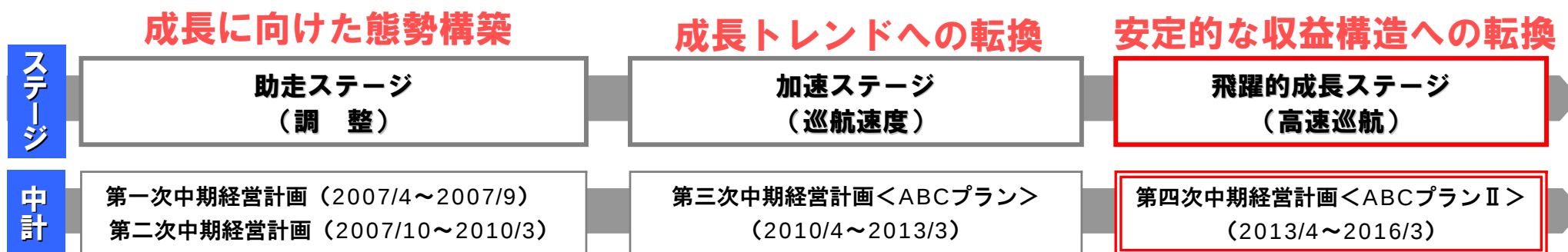
- ▶ FFGは九州を地盤とする3つの地方銀行を中心に証券会社などを傘下にもつ総合金融グループ
- ▶ 3つの顔(=ブランド)を持ちつつ、グループ内部は一体の経営体制・インフラで共通化

(2015年3月末)



これまでの軌跡

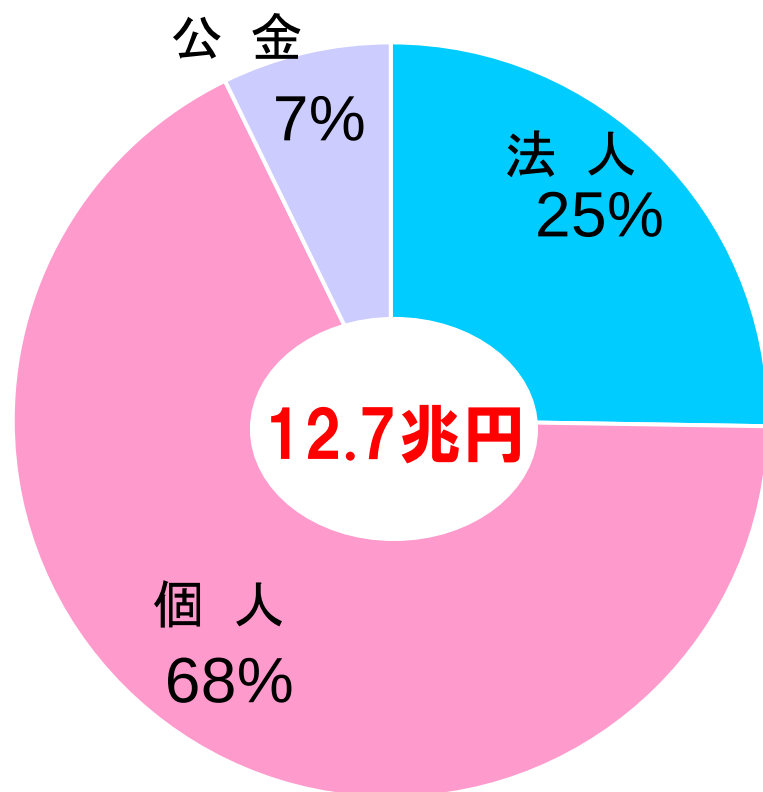
▶ 経営統合から8年間で徐々にステージを上げながら、業容の拡大をはじめとした着実な成長を実現



貸出金・預金の状況

- ▶ 預金は個人のお客さまを中心にお預かりし、貸出金・有価証券で運用する金融仲介機能を発揮
- ▶ 貸出金は4割を中小企業、3割を個人のお客さまが占め、地元九州を中心に運用

預金（2015年3月末）

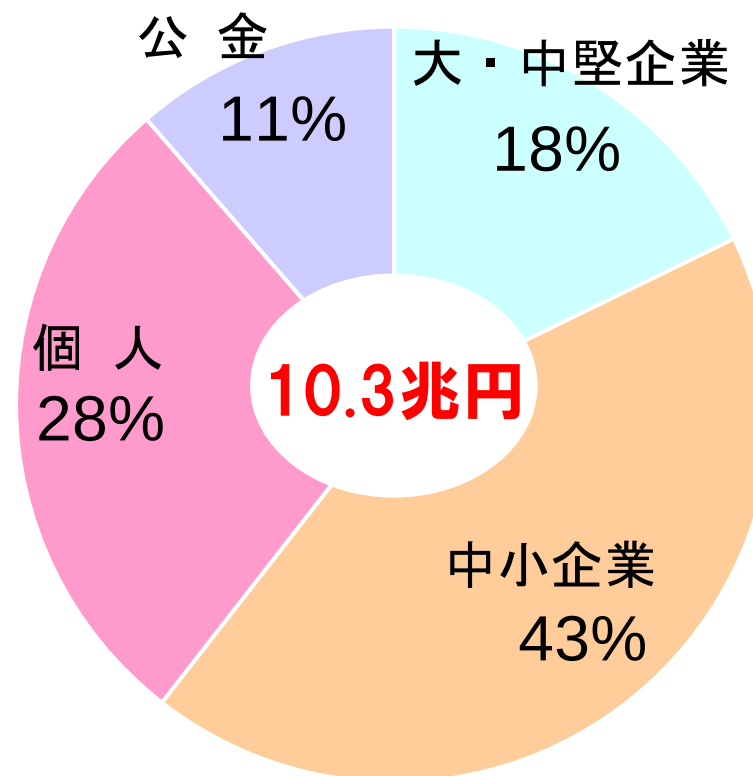


九州域内12.4兆円（シェア16%）

※3行単体合算ベース

※預金シェアにはゆうちょ銀を含む

貸出金（2015年3月末）



九州域内9.0兆円（シェア24%）

運用

※差額2.4兆円は
有価証券で運用

収益構造の状況

- ▶ お客さまからお預かりした預金の運用による資金利益を収益の柱としながら手数料収益も強化
- ▶ 経営統合後の経営効率化と財務健全化により収益体質を強化

収益構造の5年前比較

(億円)

		2009年度	2014年度
1	業務粗利益	1,931	1,742
2	資金利益	1,629	1,496
3	役務取引等利益	212	209
4	うち資産運用関連	82	114
5	特定・その他業務利益	90	36
6	うち債券等関係損益	39	2
7	経費 (▲)	1,138	998
8	一般貸倒引当金 (▲)	72	—
9	業務純益 (1-7-8)	721	744
10	コア業務純益 (9-6+8)	754	742
11	信用コスト (▲)	209	▲25

※3行単体合算

業務粗利益

…一般事業会社の「売上総利益」

- ▶ 太宗を占める**資金利益**は、市場金利低下の影響により5年間で**133億円減少** (…2)
- ▶ 投信・保険の販売強化でお客さまの**資産運用関連利益**が5年間で**32億円増加** (…4)

業務純益

…一般事業会社の「営業利益」

- ▶ 経営統合後の経営効率化により、**経費**を5年間で**140億円削減** (…7)
- ▶ 本業の収益力を表す**コア業務純益**は市場金利低下の影響を受けながらも**横ばいを維持** (…10)

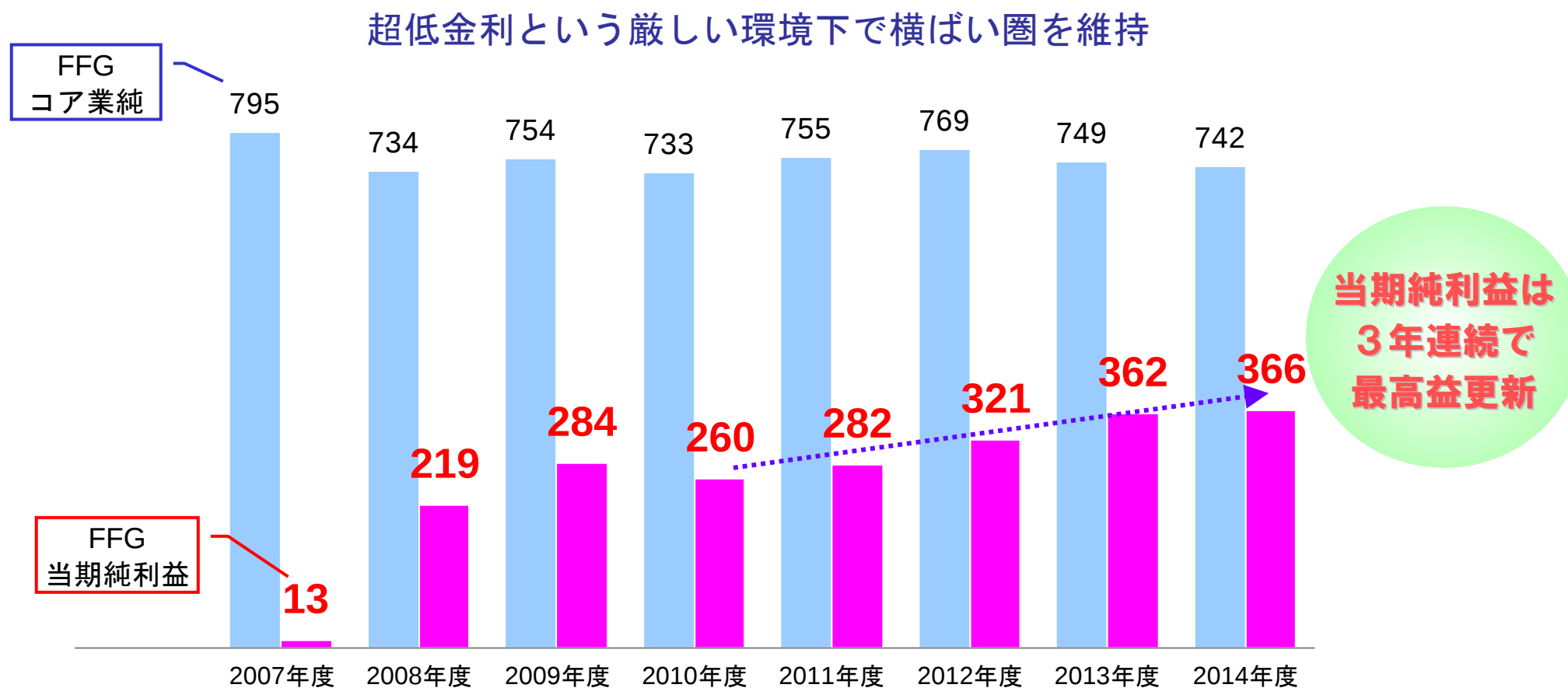
信用コスト

- ▶ 熊本銀行と親和銀行の財務健全化により**信用コスト**は大幅に減少し、2014年度は**戻り益を計上** (…11)

業績推移

- ▶ 経営統合後の収益体質の強化により、超低金利という厳しい経営環境のもとで、連結当期純利益は4期連続増益、3期連続で過去最高益を更新

(億円)



※コア業務純益＝業務粗利益－経費－（一般貸倒引当金繰入額＋債券関係損益）

※コア業務純益：3行単体合算、当期純利益：FFG連結

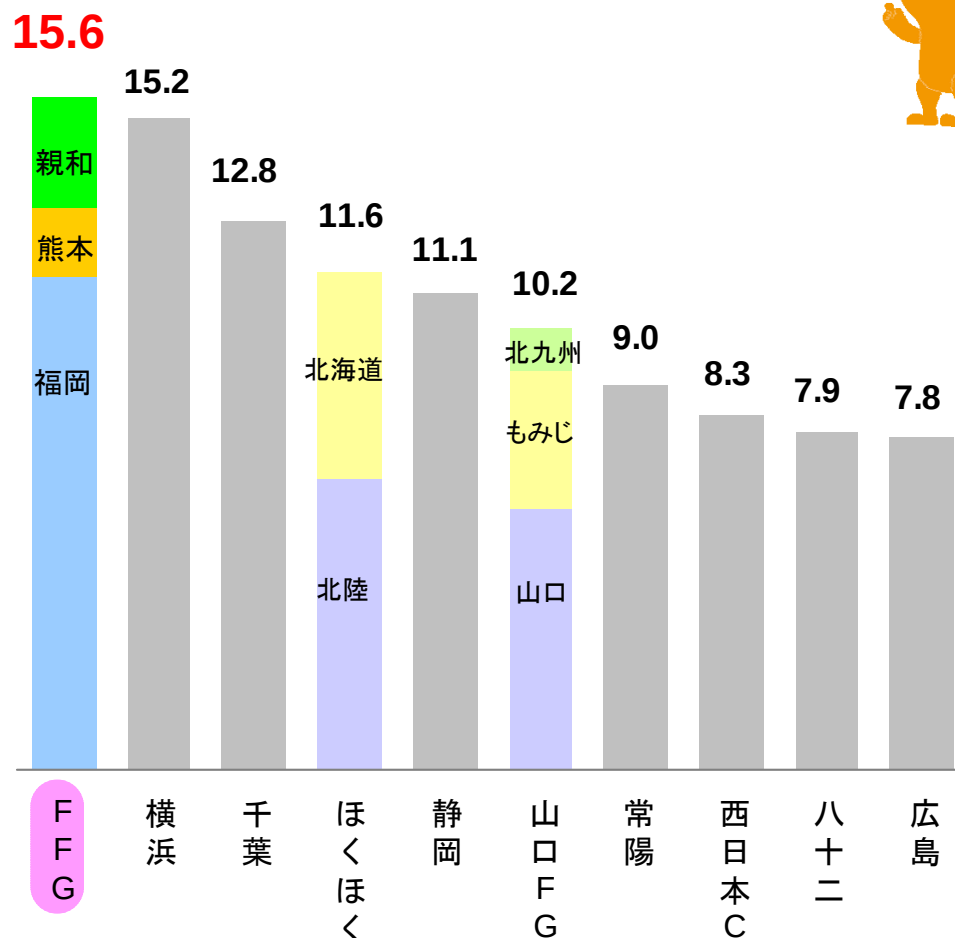
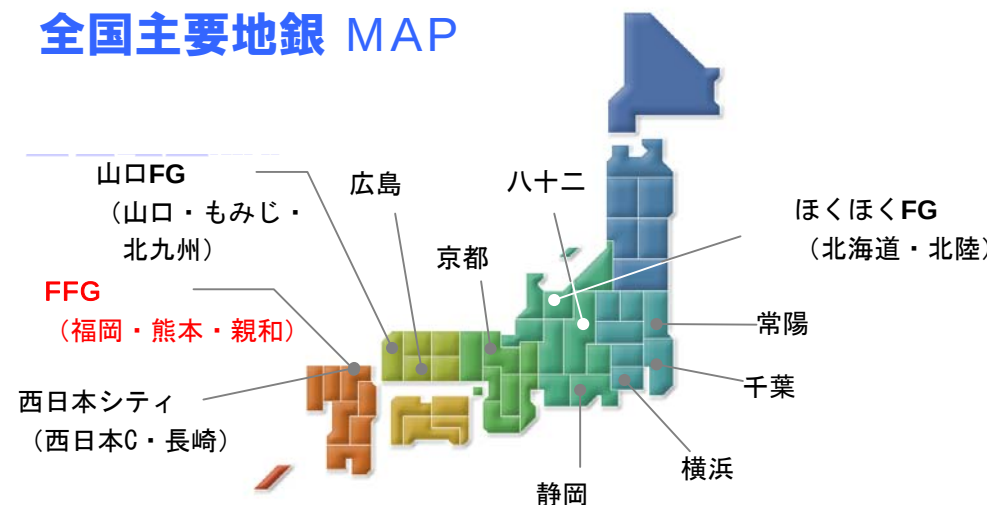
地方銀行の中での位置 ①総資産

▶ 2007年の経営統合から着実な成長を遂げ、地域金融グループでは国内最大規模に位置

総資産 15.6兆円 … 地銀第 **1** 位

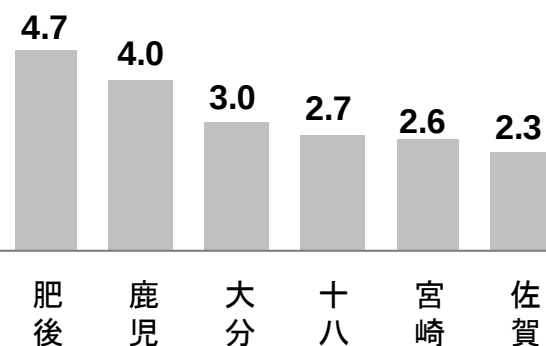


全国主要地銀 MAP



<九州地銀>

(兆円)



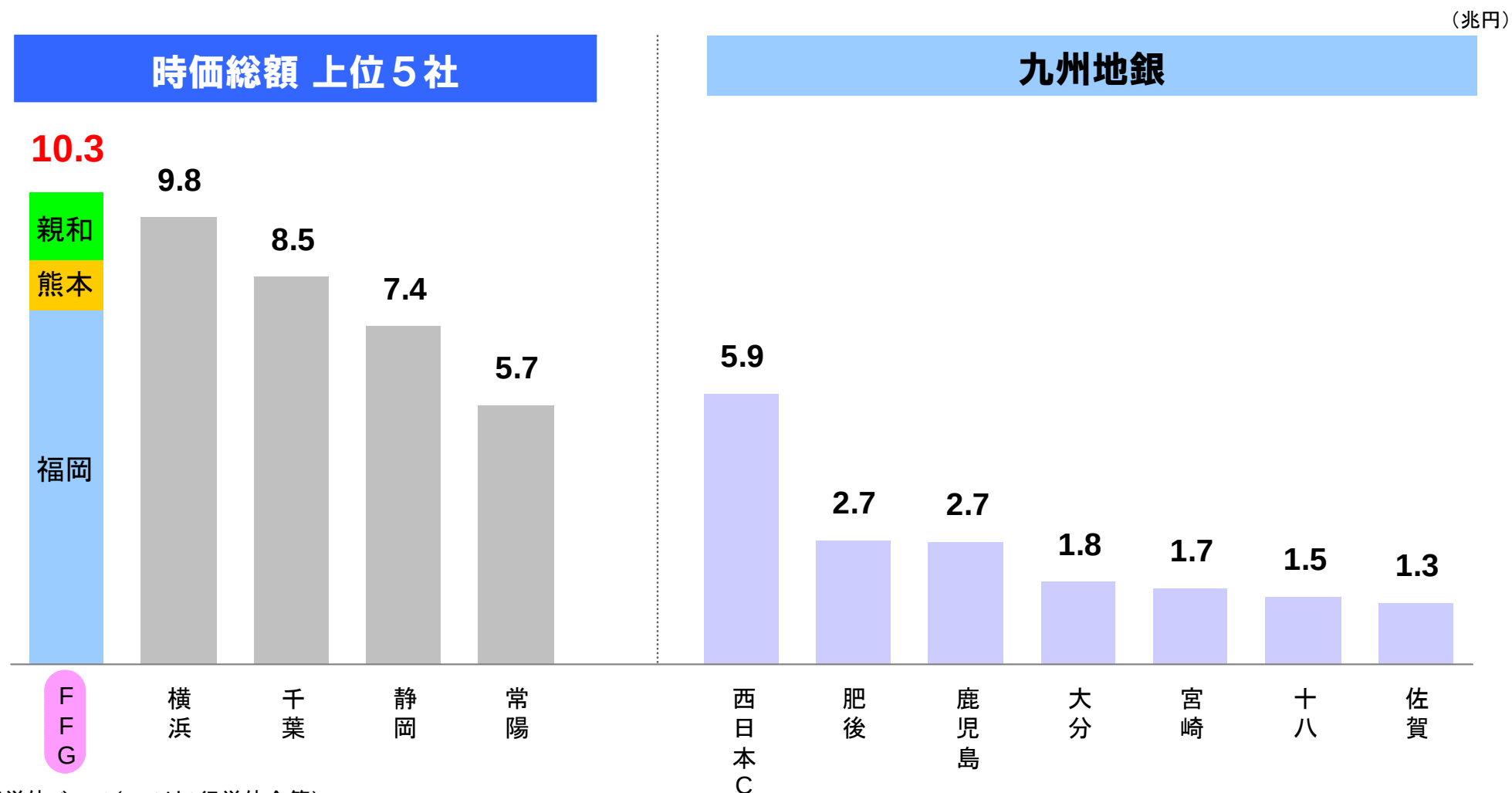
※単体ベース

※2015年3月末

(出所: 各行決算短信)

地方銀行の中での位置 ②貸出金

▶ FFG3行合算の貸出金残高は10兆円を超え、地方銀行で最大規模



※単体ベース (FFGは3行単体合算)

※2015年3月末残高

※時価総額は2015年6月末現在

(出所: 各行決算短信)



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part II

FFGの成長戦略

— 第四次中期経営計画ABCプランII —

地域金融機関の持続的成長に向けた道

- ▶ 地域が抱える様々な課題を解決し、「収益力の向上」と「地域経済の活性化」の好循環サイクルを実現することが地域金融機関としての企業価値の持続的向上に繋がる

地域の課題

人口減少

高齢化

地域経済の
一体化

グローバル化

収益力の向上

- ▶ 積極的・適切なリスクテイク
- ▶ 多様化するニーズへのサポート
- ▶ 効率化によるコスト削減
- ▶ 利益積み上げによる資本の充実

地域経済の活性化

- ▶ 『金融仲介機能』の拡充
 - 資金・商流・情報・ヒトを広範囲で“つなぐ”
- ▶ 地域金融システムの維持・安定
- ▶ 地方創生

好循環サイクル
の実現

地域経済の成長・発展

企業価値の持続的向上

地元九州の可能性

- ▶ 九州は地域経済の一体化や新たな成長の芽に加え、アジアを中心とする海外市場とのビジネスチャンスも大きく、将来の成長性を秘めた地域

九州の成長可能性

地域経済の一体化

- ▶ 九州新幹線の開通で福岡-鹿児島間の往来が**2割増加**



- ▶ 東九州道、西九州新幹線の整備
- ▶ 福岡空港の滑走路増設



新たな成長の芽

- ▶ 「グローバル創業特区」



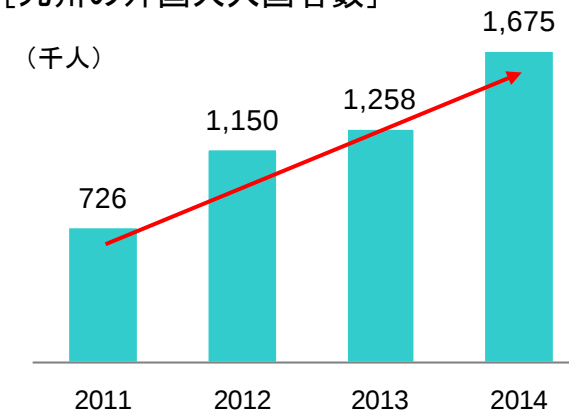
スタートアップカフェ
(福岡市)

海外ビジネス

- ▶ 外国人入国者数が160万人を超えて**過去最高を更新**



[九州の外国人入国者数]



(出所:国土交通省)

FFGの成長戦略

- ▶ 第四次中期経営計画“ABCプランⅡ”では、お客さま起点の「構造改革」により「営業基盤の飛躍的拡大」を実現し、九州全域で確固たる支持を受ける総合金融グループを目指す

第四次中期経営計画“ABCプランⅡ”

(計画期間：2013年4月～2016年3月)

“ABC” = Always Best for the Customer

基本コンセプト

“お客さま起点”の
『構造改革』による
『営業基盤の飛躍的拡大』

目指す姿

九州全域で
確固たる支持を獲得する
総合金融グループ

目標経営指標

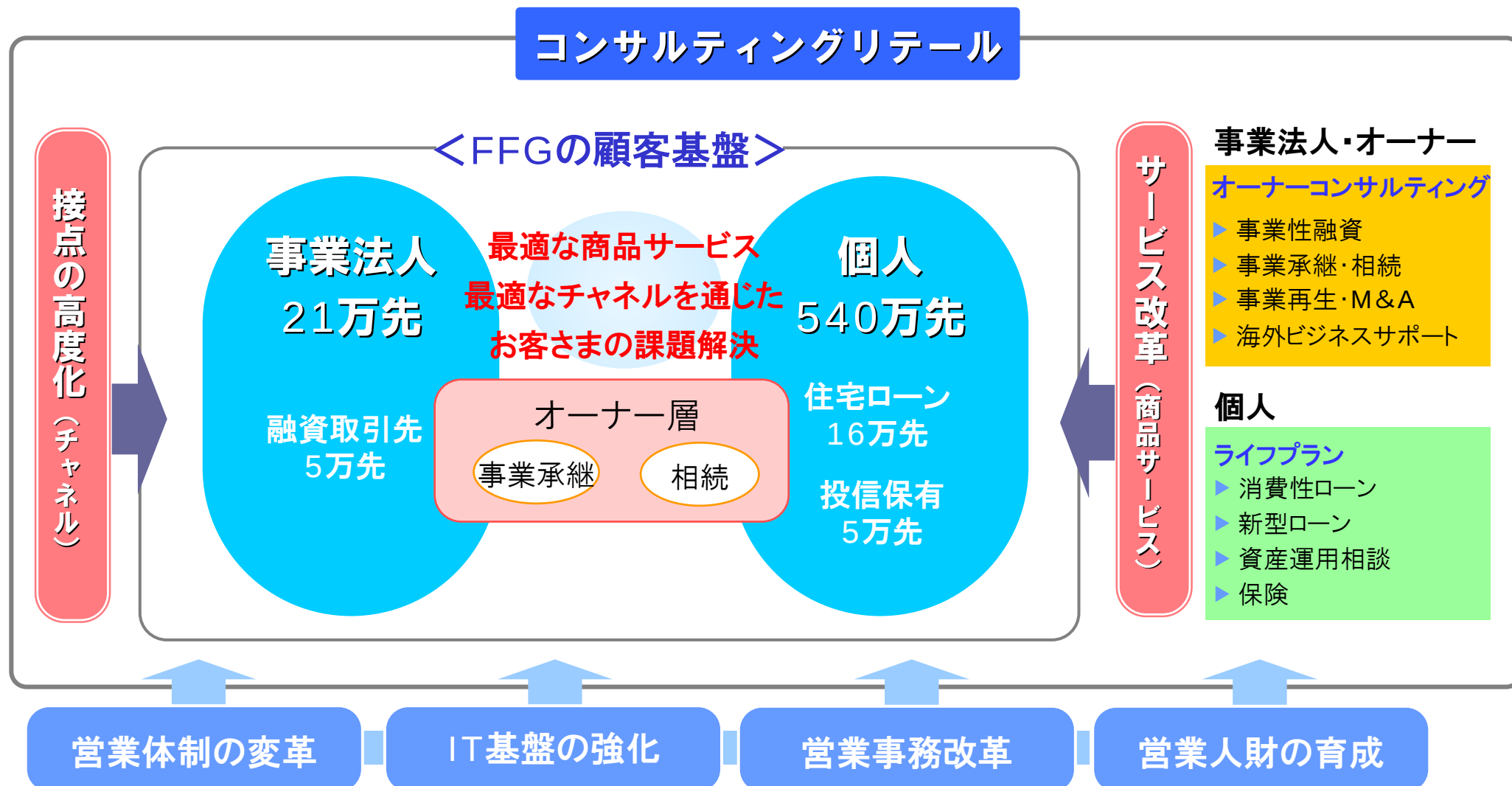
	2015年度 目標(当初)	2014年度 実績	2015年度 目標(現在)
総貸出金(平残)	10.1兆円	9.7兆円	10.2兆円
総資金(平残)	12.4兆円	達成 12.4兆円	12.8兆円
当期純利益	330億円	達成 366億円	370億円
配当性向	30%程度	達成 28%	30%程度

2015年度は
当初目標の
超過達成を
目指す計画

コンサルティングリテールの展開

- ▶ 個人・法人全てのお客さまの様々な課題解決に応える「コンサルティングリテール」を展開することで、営業基盤の拡大と深化に繋げていく。

コンサルティングリテール



お客さまとの接点（営業ネットワーク）

- ▶ 九州全域での店舗展開とアジアを中心とした海外拠点に加え、専門チャネルやATM、ダイレクトチャネルなど多彩なチャネルでお客さまとの接点を強化

国内店舗 328カ店

- うち**九州内321カ店**
- 積極的な新規出店や店舗建替えを実施

店 舗	328
福岡県	161
熊本県	64
長崎県	78
九州他県	18
本土県外	7



海外駐在員事務所 6拠点



- アジア5、米国1
九州地銀では唯一
ASEANに拠点設置
- ・シンガポール
 - ・バンコク

専門チャネル

- ▶ ローンセンター・ローンプラザ
- ▶ セカンドライフサポート室
- ▶ 法人ビジネスセンター
- ▶ 外貨両替ショップ

ATMチャネル

- ▶ グループ3行で**2,036台**設置
- ▶ グループ3行で**通帳の相互利用が可能**
- ▶ コンビニATM 約4,800台
(九州内のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス)

ダイレクトチャネル

- ▶ 電話、パソコン、携帯電話、スマホからお取引可能
- 振込・振替
- 定期預金
- 投資信託、外貨預金



個人向けサービスの展開 ①相続・資産運用

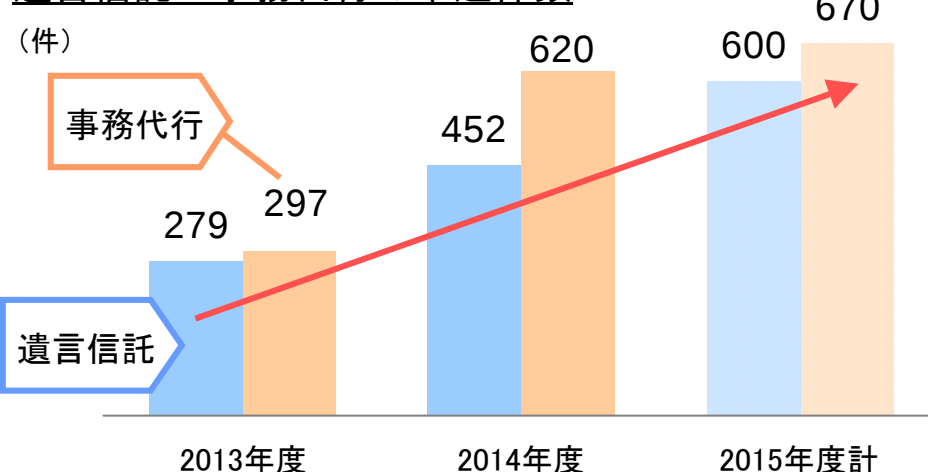
- ▶ 高齢化社会で増加する相続関連ニーズに応える専門サービスを充実
- ▶ 地銀トップクラスのNISA口座開設とポートフォリオ提案営業で預かり資産残高が着実に増加

相続関連サービスの強化

ご本人が将来に備えて準備したり、ご家族が相続時に必要となる手続きに関するサービスをご提供

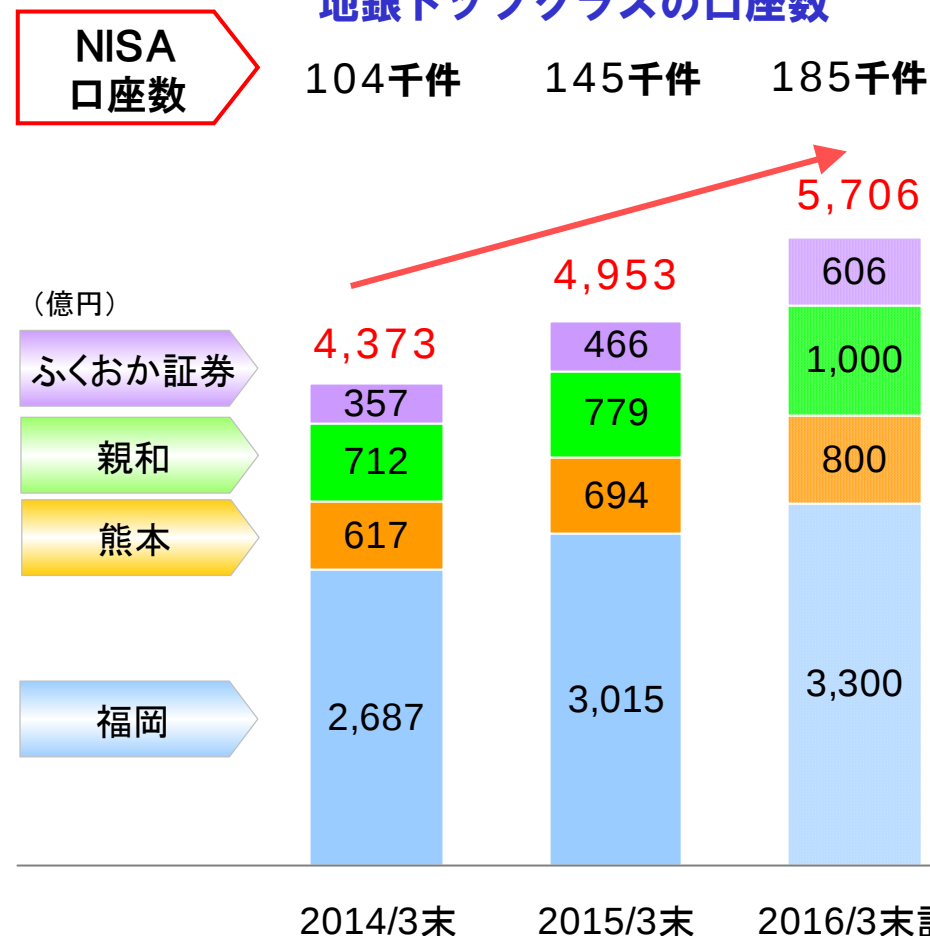
- ▶ 外部専門家と連携した専門サービス(遺言信託・相続事務代行サービス)
- ▶ 専門部署(セカンドライフサポート室)の設置
- ▶ 富裕層取引の人財強化

遺言信託・事務代行の申込件数



投資信託預かり資産残高の推移

地銀トップクラスの口座数

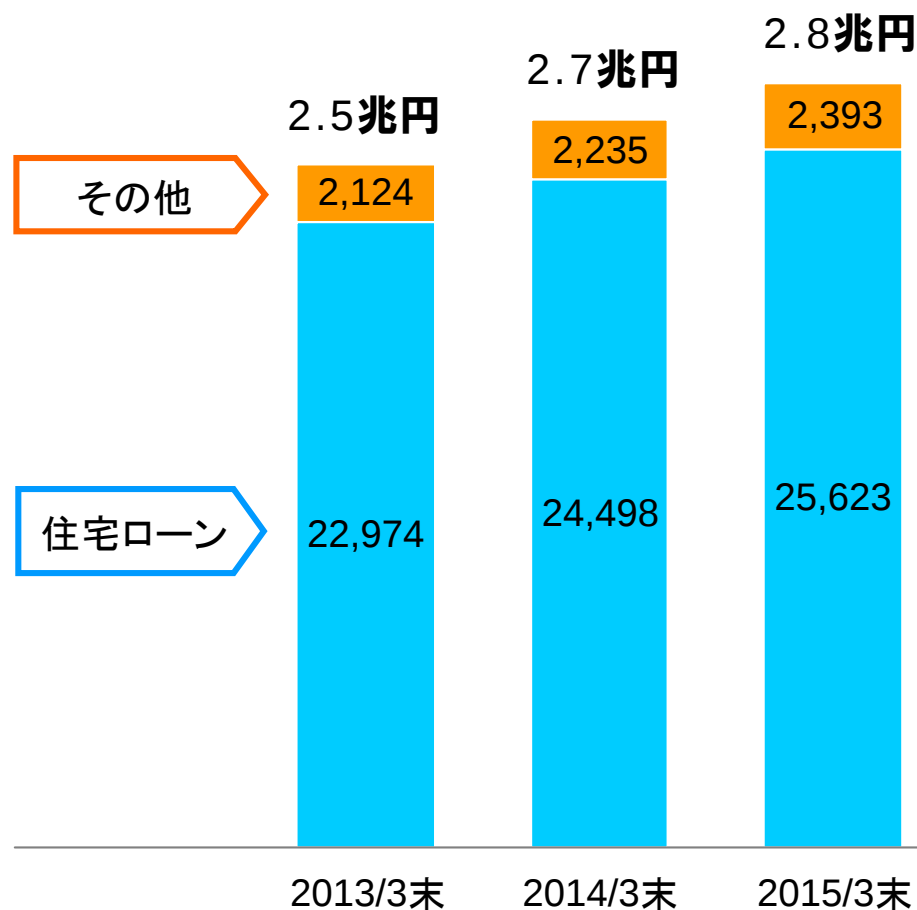


個人向けサービスの展開 ②ローン

- ▶ 貸出金全体の3割を占める個人向け貸出金は住宅ローンを中心に順調に増加
- ▶ 貸出金増加の新たな柱として消費性ローン推進を強化し、残高が大幅に増加

個人向け貸出金残高の推移

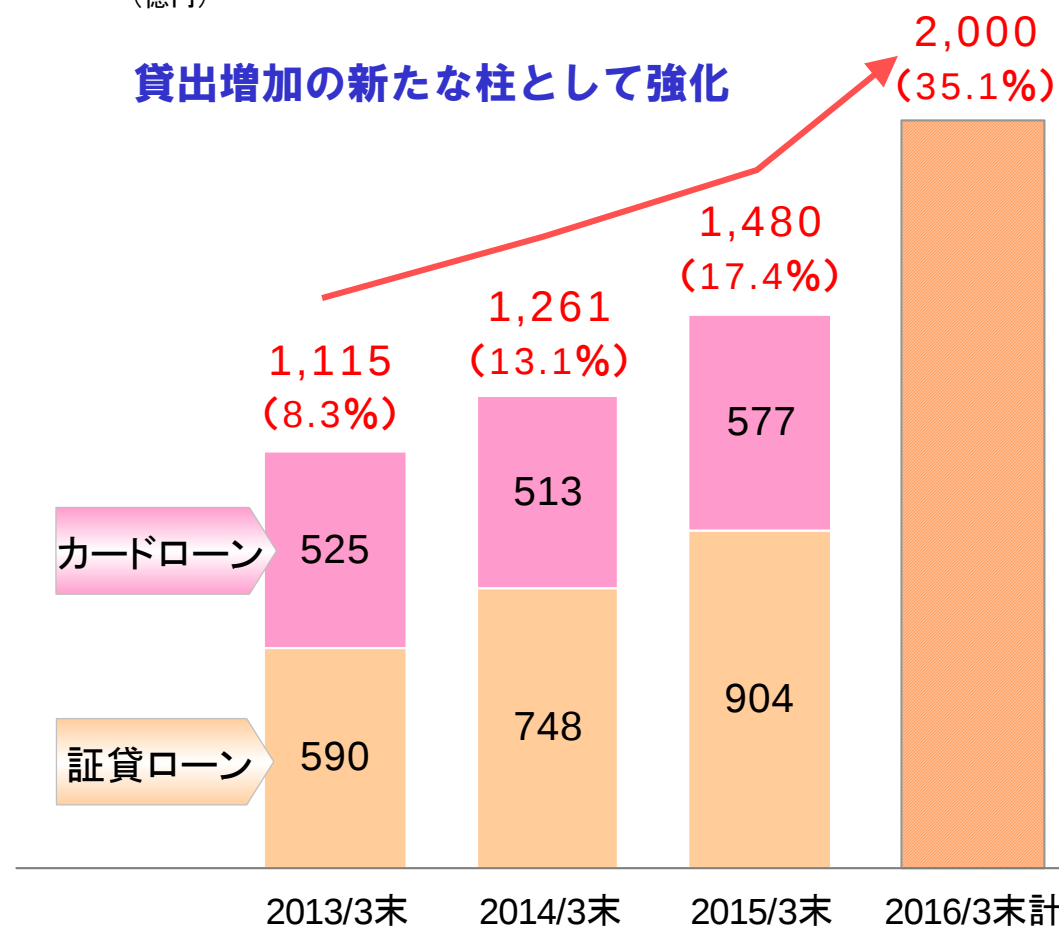
(億円)



消費性ローン残高の推移

(億円)

貸出増加の新たな柱として強化



事業法人向けサービスの展開

- ▶ 中小企業のお客さまの様々な経営課題やニーズに対して、総合的なコンサルティング機能を発揮し、ご融資はもちろん、経営相談などの最適なソリューションを提供

お取引先のステージ・経営課題に応じた最適なソリューションを提供

創業・開業期

- 創業支援
- 資金調達
- 販路創出

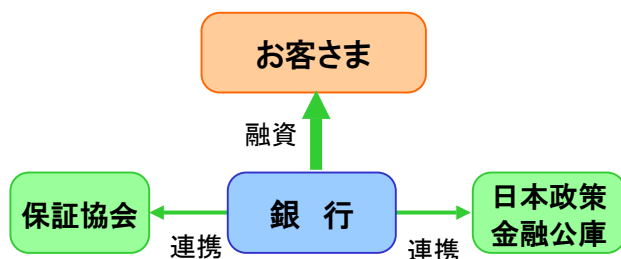
成長・成熟期

- 商談会・セミナー
- ビジネスマッチング
- 産学官連携

転換期

- 事業承継
- 経営改善
- 事業再生

創業者支援



創業・新事業支援融資

286 件

(2014年度実績)

商談会

食の祭典
(福岡)



ビジネスマッチング

業務提携先などのビジネスパートナーをご紹介

マッチング成約件数

401 件

(2014年度実績)

FFGの事業承継支援

- 自社株評価
- 事業承継プラン(M & Aなど)

FFGビジネスコンサルティング

グループのコンサルティング会社や外部専門家との連携で支援メニューをご提供

相談受付件数

567 件

(2014年度実績)

海外ビジネスサポート

- ▶ アジア、特にASEANに強い海外ネットワークを活かした海外視察や海外商談会を開催し、お客さまの海外ビジネス拡大をサポート

東南アジアイスラム経済圏視察 (2014年9月)

九州地銀で初めての取り組み



ハラル見本市の視察

- ▶ ASEAN諸国の約4割を占めるイスラム市場との取引開拓を目指した取り組み
- ▶ マレーシアとインドネシアを訪問し、現地事情やハラル(イスラム教固有の様式)について視察

第2回九州食の商談会 in バンコク (2015年2月)

単独開催の海外商談会では地銀最大規模



商談会場の様子

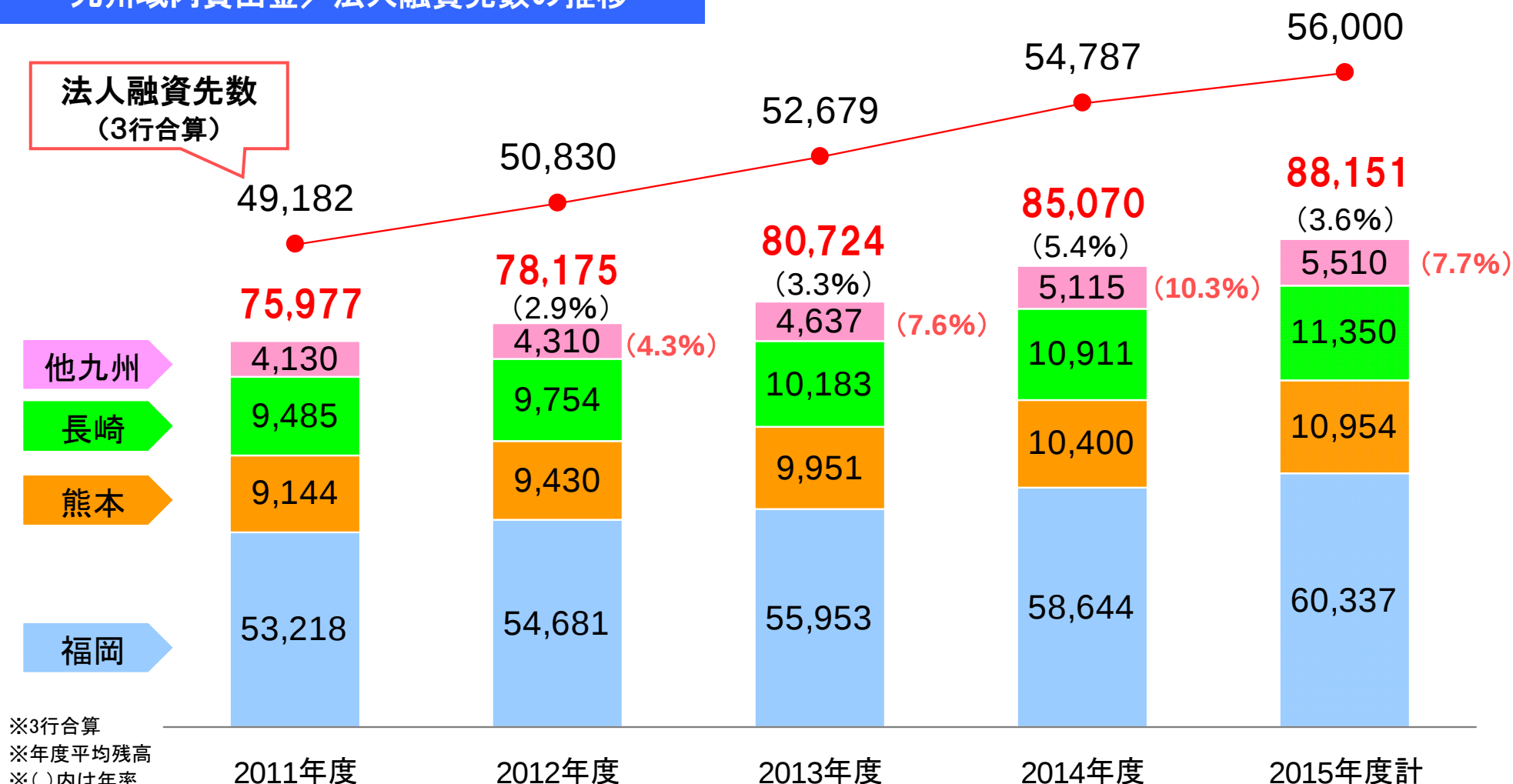
- ▶ 九州一円の取引先44社が参加
- ▶ バンコクの百貨店・スーパー・レストラン関係のバイヤー162社が来場
- ▶ 700件を超える商談を実施

九州全域での営業基盤拡大

- ▶ お客さま起点で様々な課題・ニーズの解決に取り組むコンサルティングリテールの展開が浸透してきた結果、ABCプランⅡで目指す「九州全域での営業基盤拡大」が着実に進展

九州域内貸出金／法人融資先数の推移

(億円)



※3行合算
 ※年度平均残高
 ※()内は年率



Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part III

業績予想・配当方針

業績予想

- ▶ 2015年度はコア業務純益740億円、当期純利益は370億円の最高益更新を計画
- ▶ 金利低下の影響により長らく減少が続いた資金利益の反転を目指す計画

FFGの業績

(億円)

	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度 (計画)	
業務粗利益 (3行合算)	1,811	1,742	1,744	
資金利益	1,529	1,496	1,499	反転へ
債券関係損益	54	2	9	
コア業務純益 (3行合算)	749	742	740	
当期純利益 (連結)	362	366	370	最高益更新

EPS (円)	41.82	42.29	42.77
BPS (円)	798.16	865.66	—

※EPS: 1株当たり当期純利益

※BPS: 1株当たり純資産

配当方針

- ▶ 業績連動型の配当方式を採用し、安定的な配当継続と業績向上に応じた株主還元を目指す
- ▶ 配当性向30%程度とする配当テーブルを設定、今期は年間12円配当を予定

配当方針

- ▶ 配当は業績連動方式を採用
- ▶ 配当性向を30%程度とするテーブルを設定

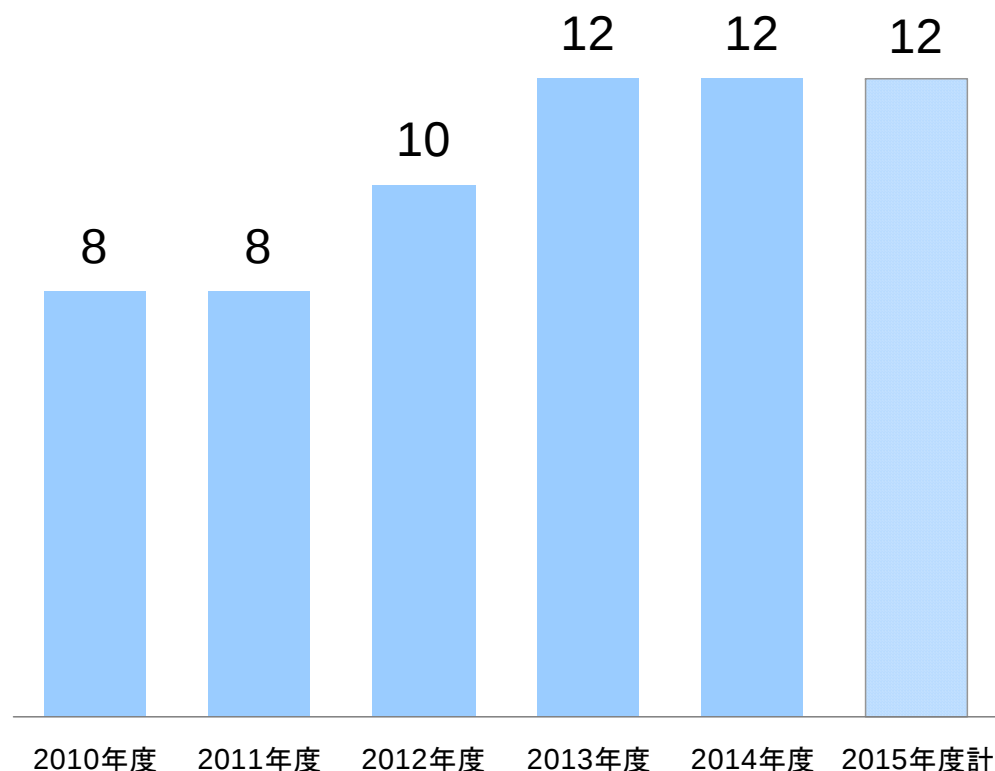
【配当金目安テーブル】

FFG連結当期純利益	配当金目安	配当性向
400億円～	13円	～28%
350～400億円以下	12円	26～30%
300～350億円以下	11円	27～32%
250～300億円以下	10円	29～34%
200～250億円以下	9円	31～39%
150～200億円以下	8円	34～46%
～150億円以下	7円	40%～

(※)親会社株主に帰属する当期純利益を指します

配当実績・予想

(普通株、円)



CSR(企業の社会的責任)経営 ～地域社会の皆さまとともに～

▶ 地域金融グループとしての役割・特性を活かして持続可能な社会を実現するため、さまざまな活動を通じ、良き企業市民・良き企業人としての責務を果たすとともに、新たな価値創造にチャレンジ

環境共生活動

九州の豊かな自然と共生すべく
環境に配慮したサービスの提供や
エコ活動を展開



エコオフィス化



植林ボランティア



地域清掃活動

生涯学習支援

ライフサイクルに応じた
様々なシーンで金融知識の
普及を通じた生涯学習を支援



女性起業セミナー



ジョブシャドウ（高校生）



特殊詐欺防止セミナー

ユニバーサルアクション

「みんなに優しい」の実現を
目指したアクションを展開



サービス介助士



ふるさと振興基金

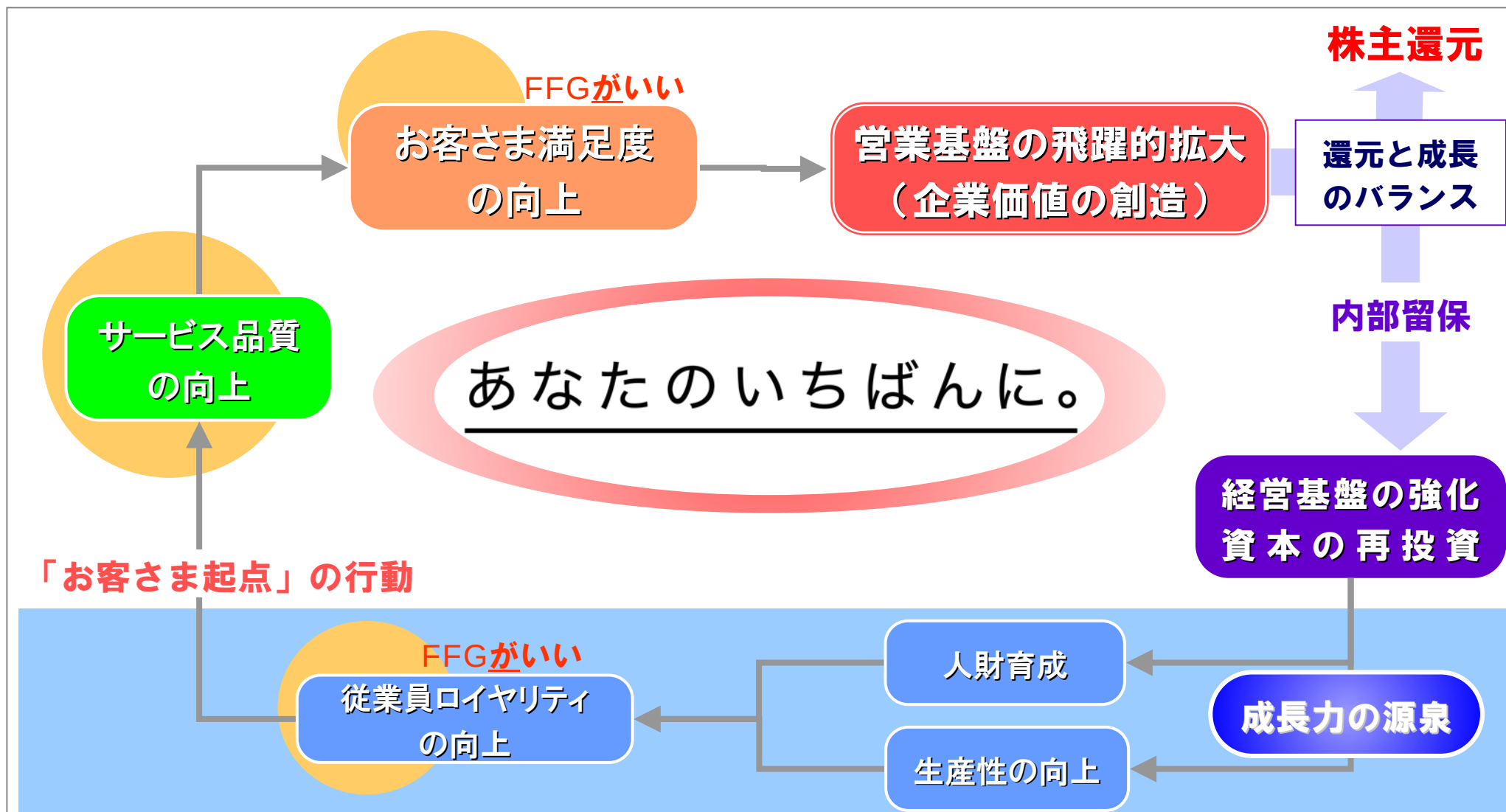


小さな親切運動

FFGの企業価値創造プロセス

FFGにおける
サービス循環

全ての戦略・施策を通じて『**あなたのいちばんに。**』を実現し、
企業価値の創造につなげる





Fukuoka Financial Group

—あなたのいちばんに。—

Part IV

参考資料

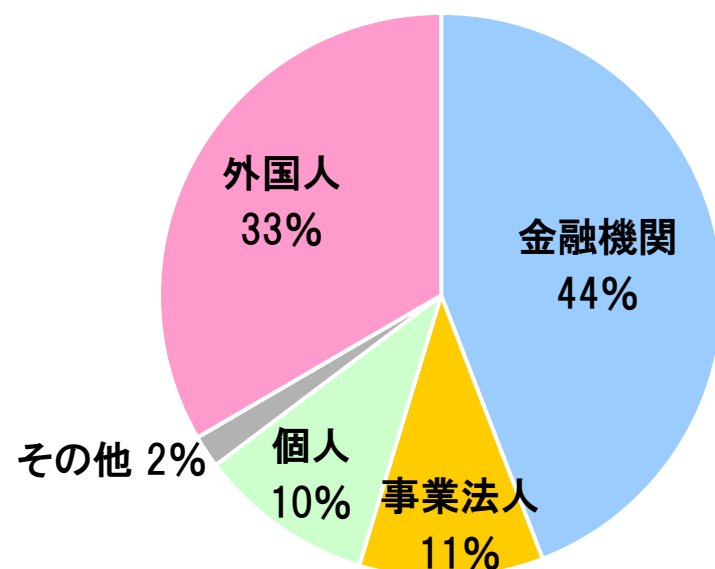
株式データ

(2015年3月末現在)

■ 株式情報

	普通株式	第1種優先株式
授権株式数	1,800,000,000	18,878,000
発行済み株式数	859,761,868	18,742,000
株主数	24,628	536

■ 株主構成（普通株式）



※株数ベース

■ 大株主

(千株)

上位株主	所有株数	比率
日本トラスティサービス信託銀行(信託口)	57,319	6.52%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	48,113	5.47%
日本生命保険	17,722	2.01%
明治安田生命保険	17,719	2.01%
住友生命保険	17,419	1.98%
第一生命保険	17,315	1.97%
日本トラスティサービス信託銀行(信託口9)	16,979	1.93%
日本トラスティサービス信託銀行(信託口4)	15,887	1.80%
STATE STREET BANK WEST CRIENT- TREATY 505234	10,583	1.20%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	10,333	1.17%

※比率は発行済株式総数に対する割合

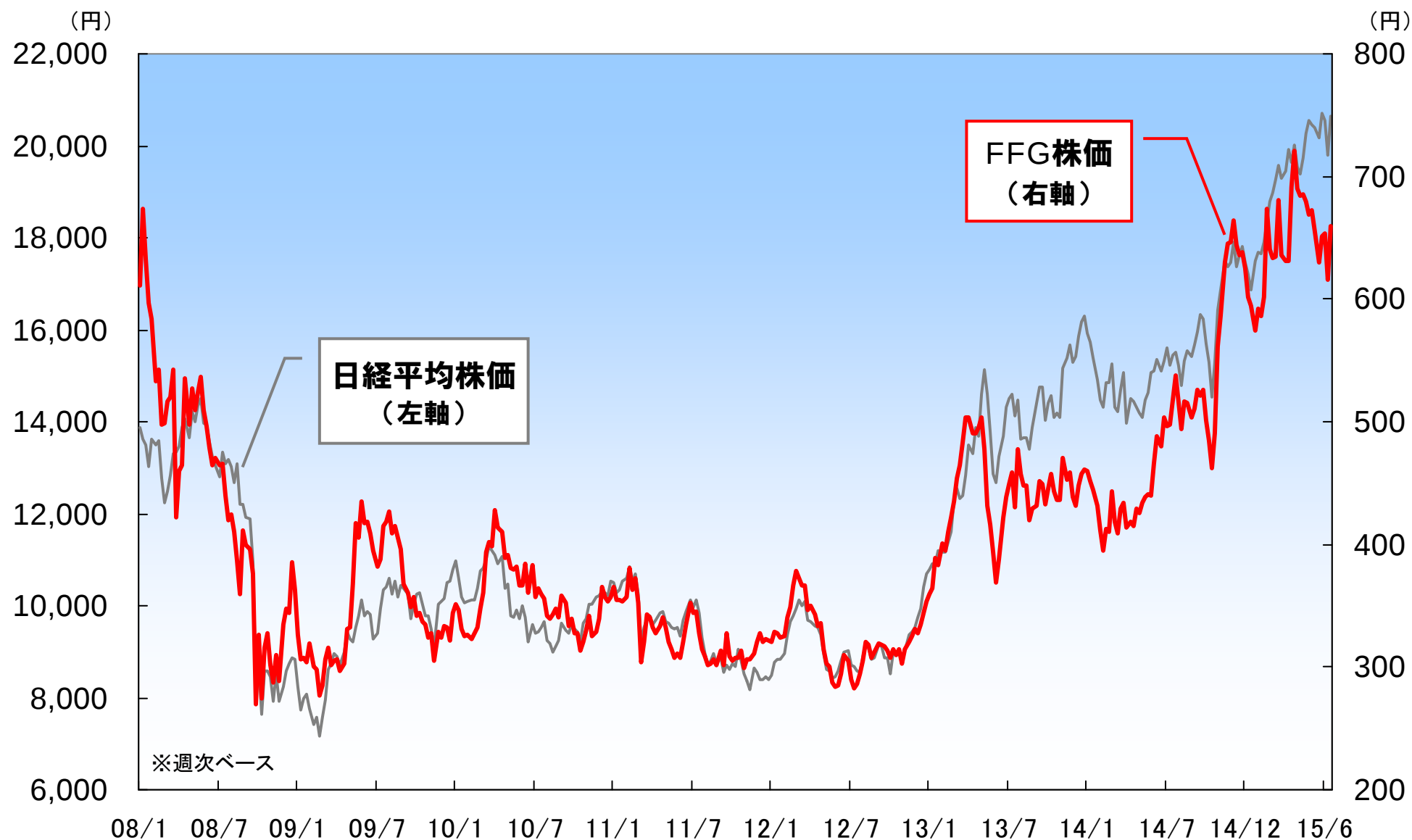
■ 株式指標

(円)

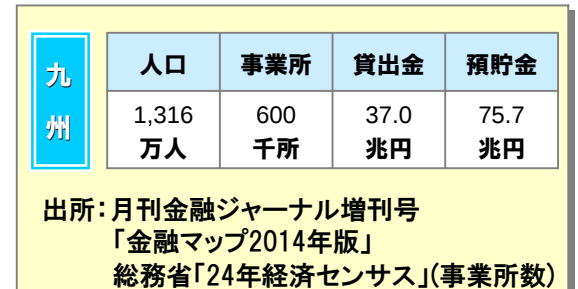
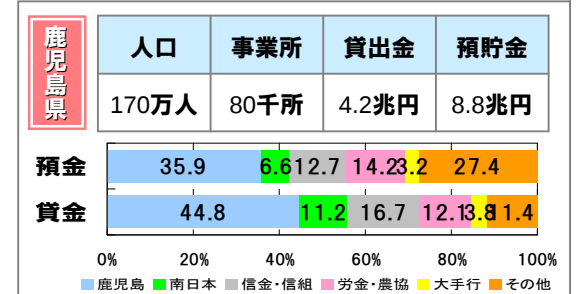
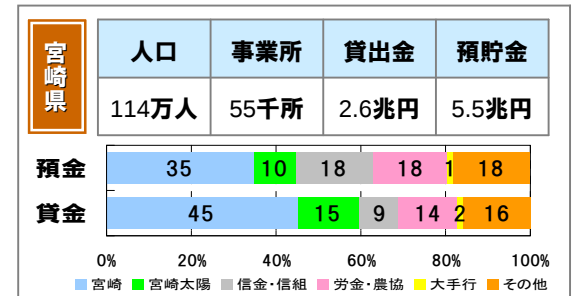
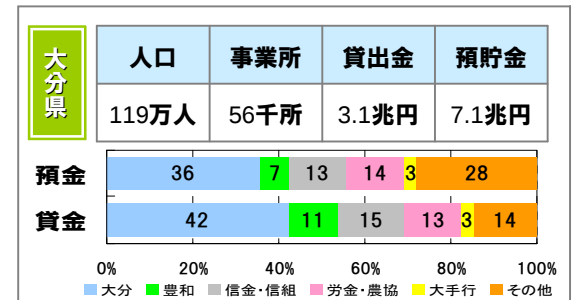
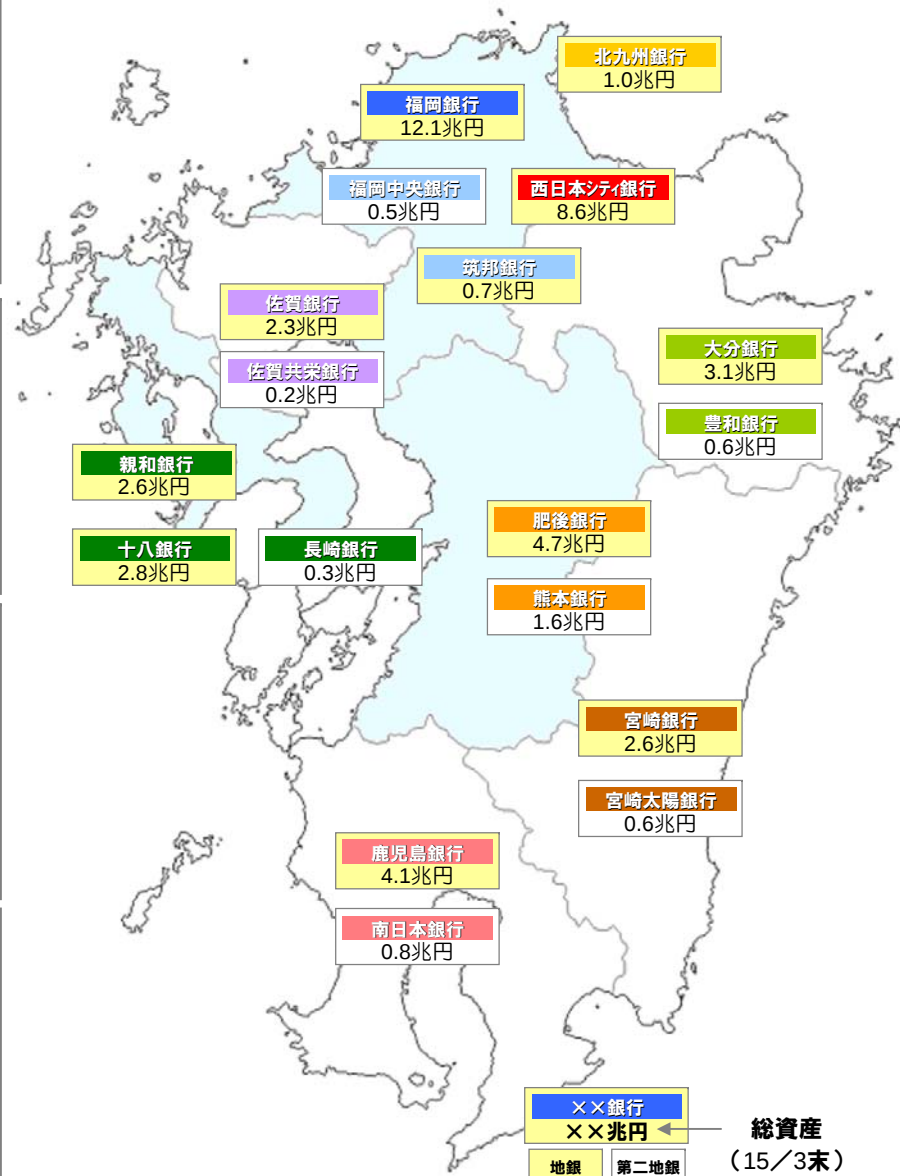
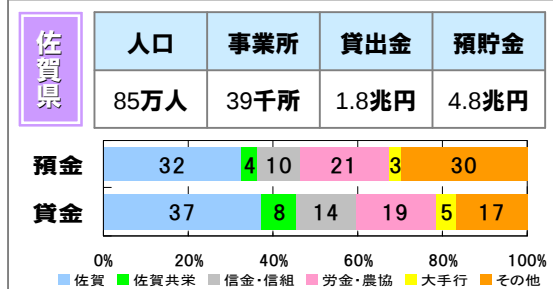
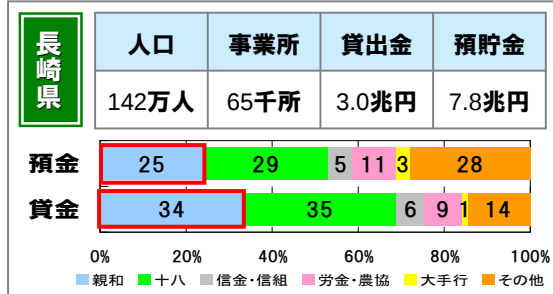
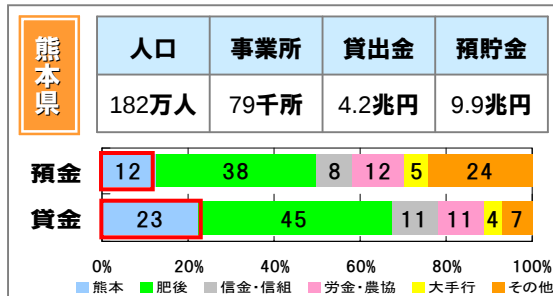
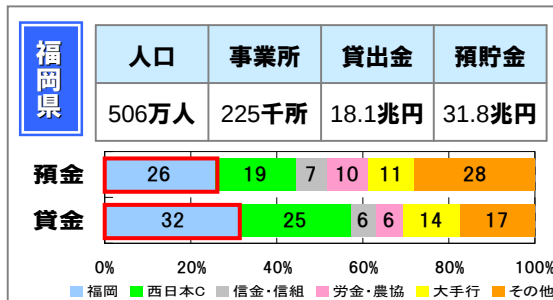
	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14
EPS	1.22	25.30	32.82	29.94	32.62	37.01	41.82	42.29
BPS	586	588	645	658	712	774	798	865
ROE	0.3%	4.3%	5.3%	4.6%	4.7%	4.9%	5.2%	5.1%
ROTE	0.4%	6.7%	7.9%	6.5%	6.5%	6.5%	6.6%	6.1%

※ROTE:有形資本ROE

株価動向



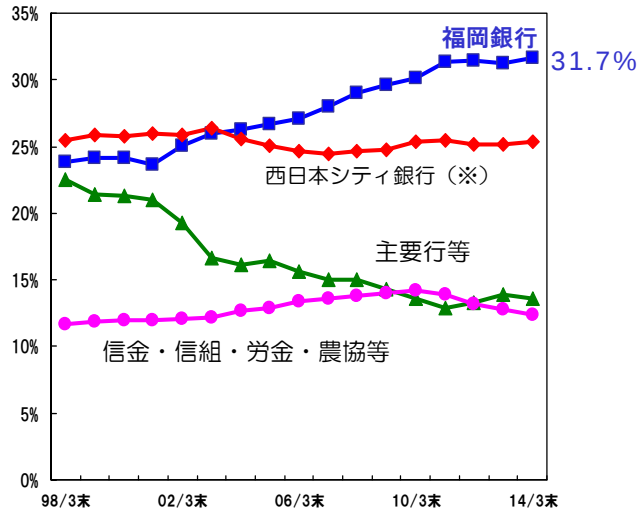
金融マーケット



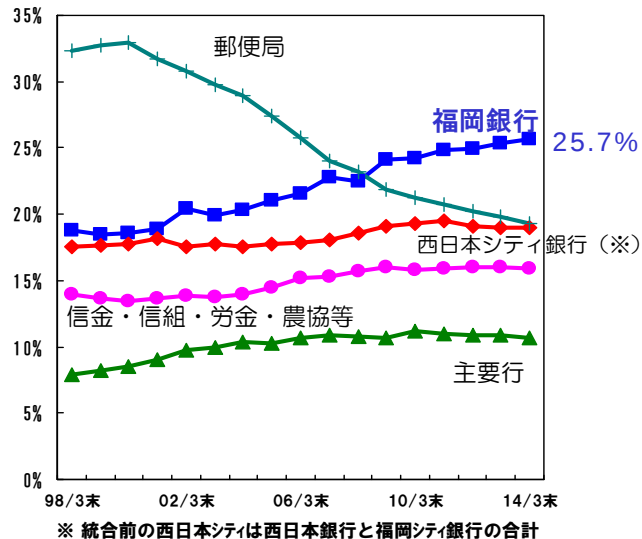
マーケットシェア

福岡県

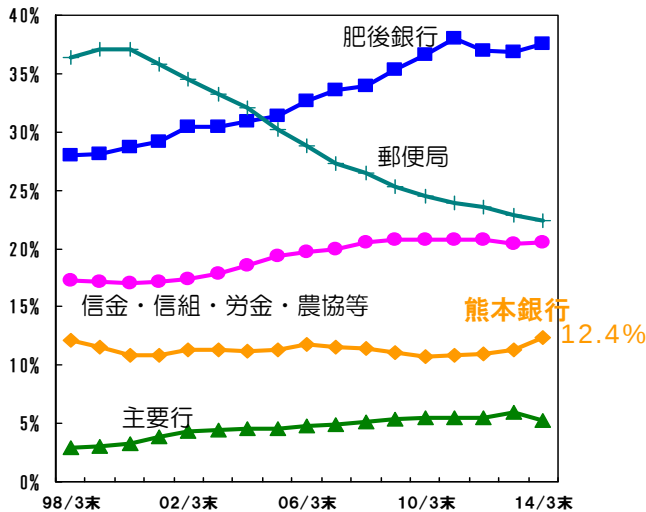
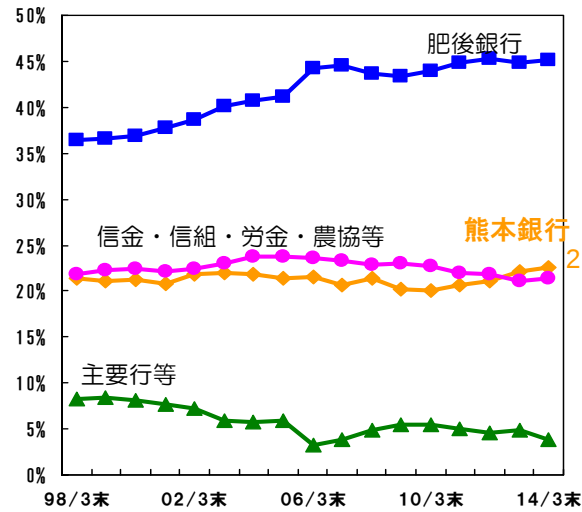
貸出金



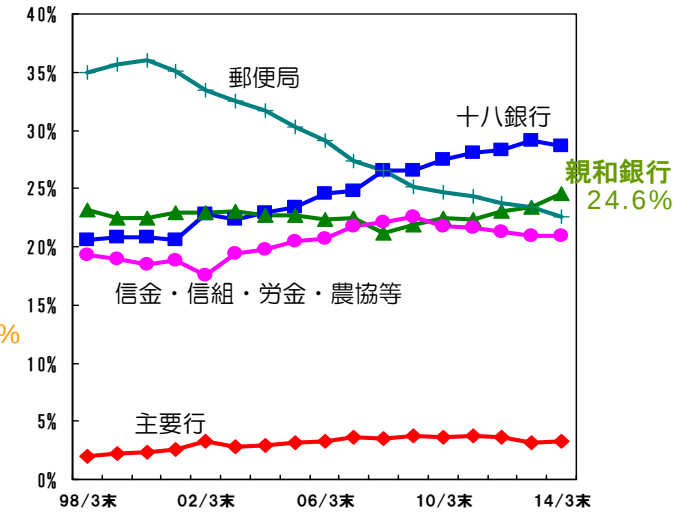
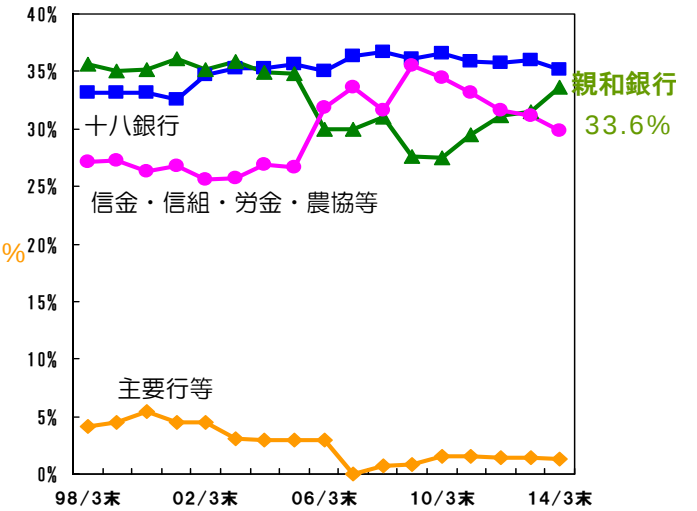
預金



熊本県



長崎県



出所: 金融ジャーナル(一部推計値を含む)

2015年度 業績予想

損益(3行単体合算)

(億円)

	3行単体合算		福岡銀行(単体)		熊本銀行(単体)		親和銀行(単体)	
	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比
業務粗利益	1,744	2	1,249	4	200	▲3	294	0
資金利益	1,499	2	1,077	9	179	▲3	243	▲3
国内部門	1,429	4	1,007	10	179	▲3	243	▲3
国際部門	70	▲2	70	▲2	0	▲0	0	▲0
非金利収益	245	▲1	173	▲4	21	0	51	4
役務等利益	201	▲9	142	▲6	17	▲1	41	▲2
特定・その他利益(債券除く)	36	2	31	4	2	▲1	3	▲1
債券関係	9	6	▲0	▲2	2	1	7	7
経費 (△)	995	▲3	650	▲7	140	4	205	1
実質業務純益	749	5	599	12	61	▲6	89	▲0
コア業務純益	740	▲1	600	14	59	▲8	82	▲7
経常利益	704	▲40	585	▲5	46	▲21	73	▲14
当期純利益	500	22	412	49	32	▲48	57	22
信用コスト (△)	40	65	25	44	8	14	8	7

損益(FFG連結)

	通期計画	前年比
業務粗利益	1,855	▲2
実質業務純益	645	▲7
コア業務純益	645	▲1
経常利益	590	▲18
連結当期純利益 (※)	370	4

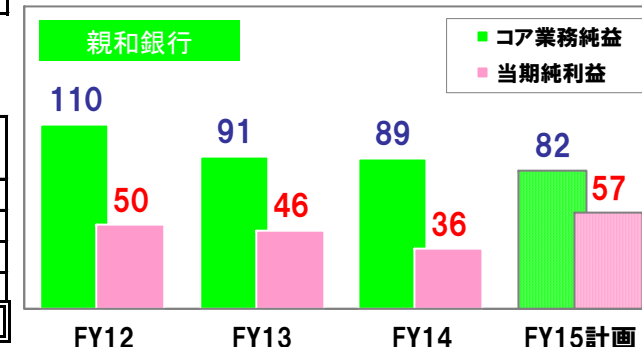
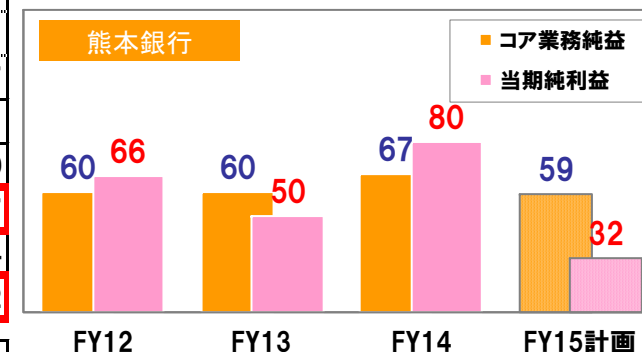
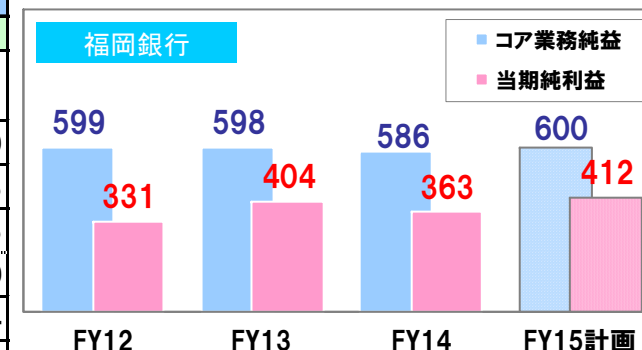
連結調整

	通期計画	前年比
FFG単体	▲58	9
のれん償却費	▲92	0
銀行子会社損益	19	▲21
その他連結調整	1	▲5
連結調整額	▲130	▲17

(※)親会社株主に帰属する当期純利益を指します

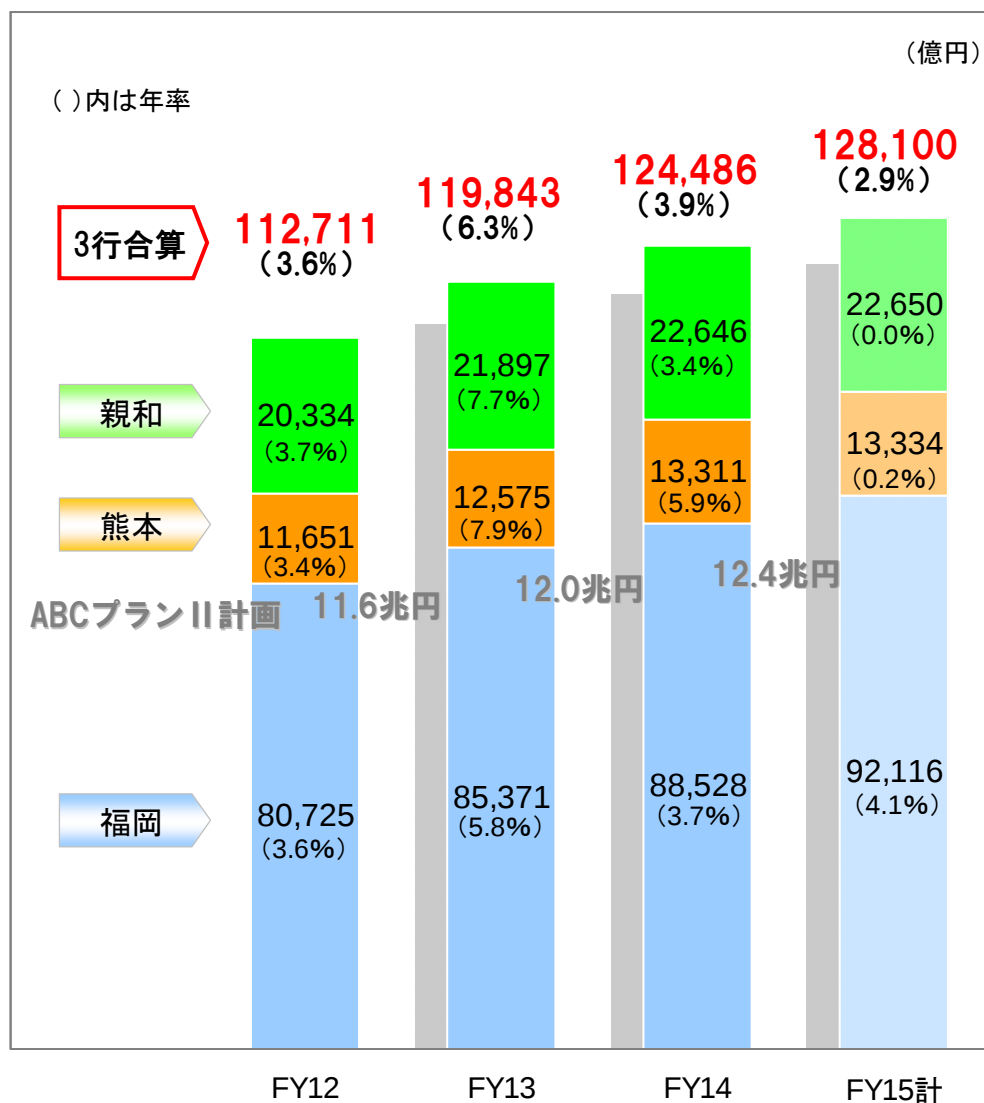
【銀行別】損益推移

(億円)

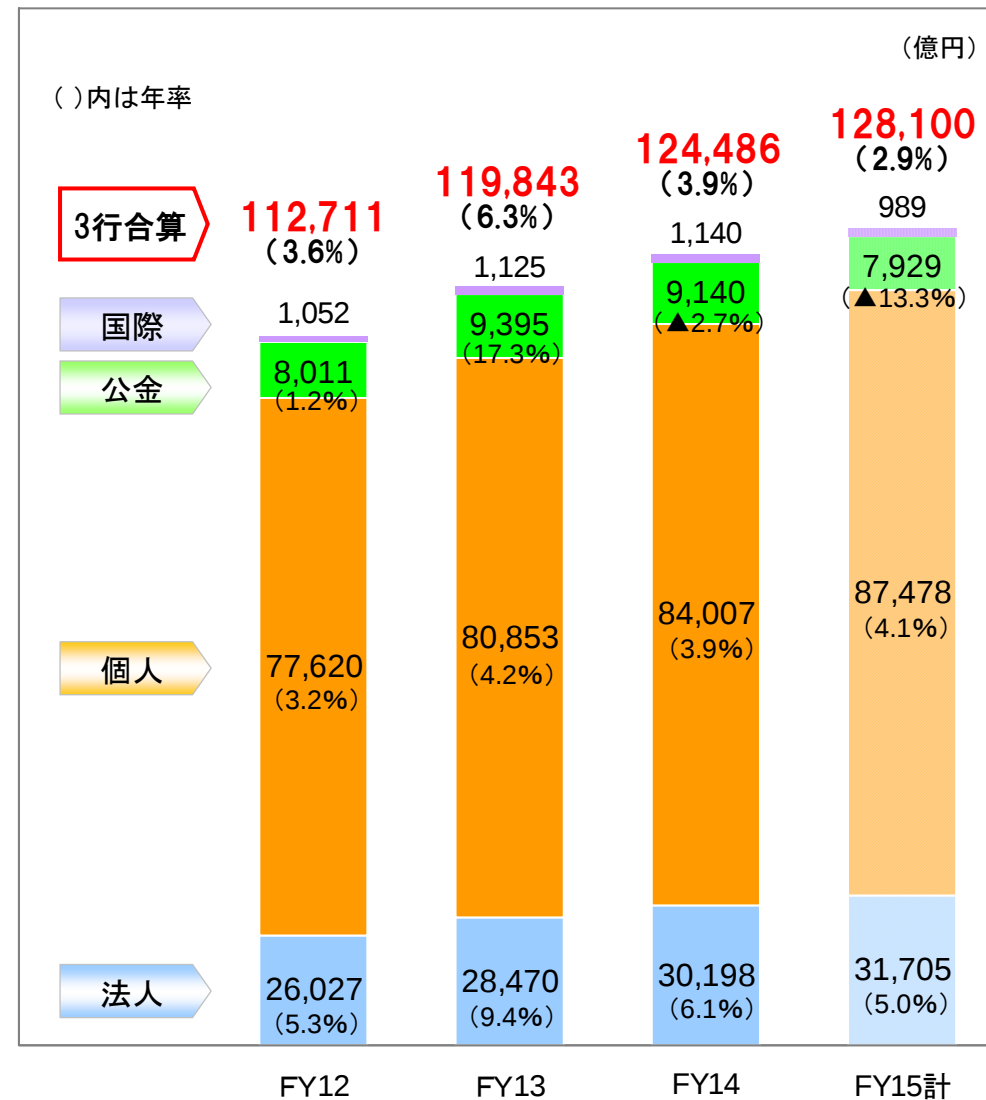


預金・NCD

総資金（銀行別）



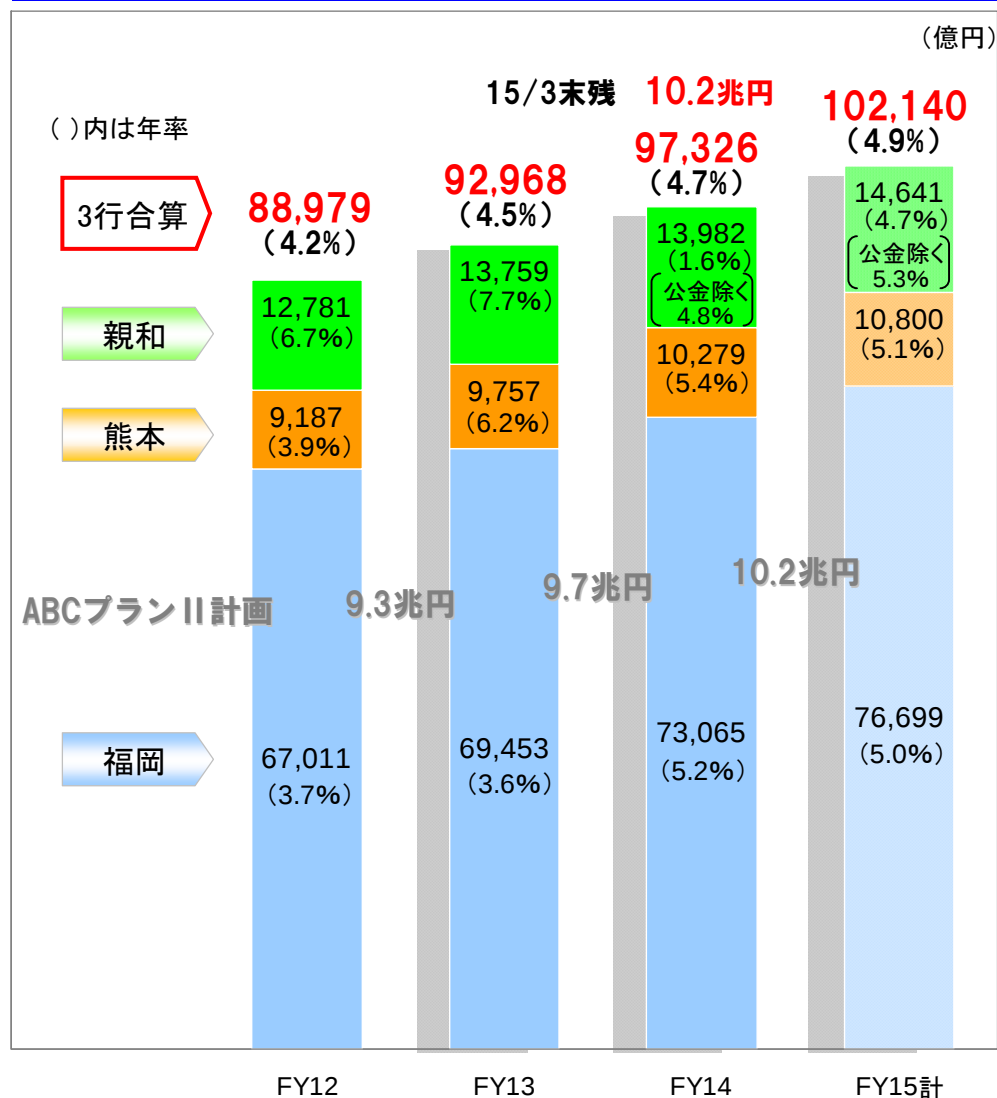
総資金（セグメント別）



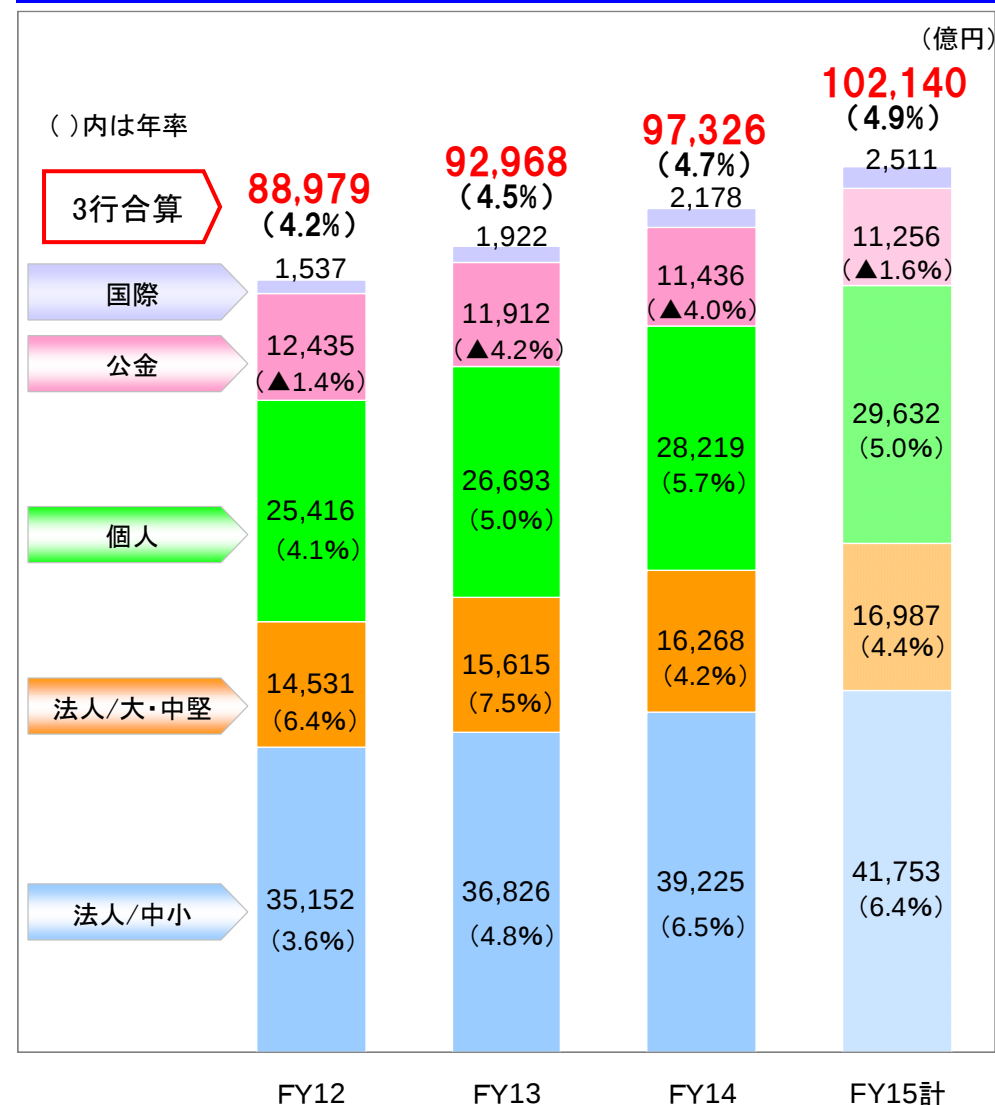
※総資金＝預金＋譲渡性預金(NCD)

貸出金

総貸出金（銀行別）



総貸出金（セグメント別）



※総貸出金＝国内＋国際（ただし、FFG向け貸出金・劣後受益権を除く）



＜照会先＞

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
経営企画部 コーポレートコミュニケーション グループ

■ 電 話 : 092-723-2502
■ E-mail : ffg-ir@fukuoka-fg.com
■ H P : <http://www.fukuoka-fg.com>

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
本資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比
変化し得ることにご留意ください。
なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご
注意下さい。